



列状間伐を実施した森林（岩手県岩手郡岩手町 金沢山国有林）

平成19年度 国有林野の管理経営に関する 基本計画の実施状況

平成十九年度国有林野の管理経営に関する基本計画の実施状況が公表されました。
地球温暖化防止、森林の整備に基づいた取組を多くの活動事例とともに紹介します。

1 公益的機能の維持増進

災害の防止。美しい景観と環境を維持するための森林づくり

日本の国土の約二割を占める国有林野は、森林面積の約三割を占め、その多くは奥地脊梁山地や水源地域に分布しています。それらの森林は、国土や自然環境の保全、水源のかん養など、さまざまな公益的機能を担っており、私たちの生活の中で大きな役割を果たしています。国有林野事業では、これらの役割を充分に発揮させるため国有林野の適切か

つ効率的な管理経営を行っています。

国有林野の六七％を占める「水土保全林」は目的によって「国土保全タイプ」と「水源かん養タイプ」に分けられ、前者の森林では土砂崩れ等の山地災害や飛砂等の気象災害を防ぐために間伐等の施業を行っています。また後者は渇水や洪水の緩和を主な目的として健全な森林を保つていくために一〇〇年程度の長い周期での長伐期施業や、育成複層林施業等を推進しています。

国有林野の二八％を占めているのが「森林と人との共生林」です。林

野庁では世界自然遺産はもとより、世界文化遺産周辺の森林景観を維持する施業にも取り組んでいます。

広島森林管理署では、世界文化遺産「厳島神社」の景観の保全のため平成一九年度にはボランティアの方々の協力をいただきつつ、樹木の更新を妨げるシダ類の刈り払いや枯損木の除去、モニタリング調査などを行いました。

また五％を占める「資源の循環利用林」は国民の生活に必要な木材を安定的かつ効率的に供給することを目的とした森林です。多様で良質な木材を将来にわたって安定的に供給していくけるよう、間伐等を進めるとともに、効率的な木材生産の基盤と

なる林道や作業道の整備を進めています。

低コストで効率的な作業システムを普及させるためには簡易で壊れにくく繰り返し利用できる路網の開設が求められます。大分森林管理署では高性能林業機械を活用し、林道と組み合わせて継続的に活用できる作業道を整備し、民有林への普及にも取り組んでいます。

そのほか、国民の皆様が安心して暮らす安全な暮らしを実現することを目的とした治山事業を計画的に行うとともに、民有林における災害危険箇所調査等に協力し、迅速かつ円滑な災害対策を実施しました。



世界文化遺産「厳島神社」の景観



作業路の作設（大分県由布市 立石国有林）



搬出された間伐材（岩手県岩手郡岩手町 金沢山国有林）



間伐材を使用した山腹工（岐阜県恵那市 上村恵那国有林）

2 森林環境教育への貢献、森林とのふれあいの推進

**森林と触れ合い、学ぶ。
人と自然を繋ぐ国有林野**

国有林野に対する国民の期待や要望は多様化しており、近年は特に森林環境教育への貢献が求められている



ボランティアによる植樹活動
(三重県南牟婁郡紀宝町 七里御浜国有林)



「遊々の森」を活用した森林教育
(山形県最上郡真室川町 大滝国有林)

ます。国有林野事業においては、その実践の場として国有林野を利用していただけるよう、プログラムの整備やフィールドの提供などに積極的に取り組んでいます。

この取組の一環として、学校などの教育関連機関と森林管理署等が協定を結び、国有林の豊かな森林環境の中でさまざまな自然体験や自然学習を支援していく「遊々の森」の設定を進めています。平成一八年度に二二箇所が締結されたのに続いて、平成一九年度には新たに一三箇所が協定が締結され、ネイチャーゲームや林業体験などさまざまな活動が行われています。また、自ら森林づくりを行いたいという皆様の要望に応えるため、国有林野を森林づくりのフィールドとして提供する「ふれあいの森」の設定も進めており、三重森林管理署ではボランティアによる森林整備や林内の清掃活動が行われています。

そのほか、「森林環境保全ふれあいセンター」では、「森林環境教育プログラム」を作成し、教育関係者を支援しています。

森林環境保全ふれあいセンターの位置図



地球温暖化防止対策の推進と生物多様性の保全に向けて

国有林野事業では、京都議定書における森林による温室効果ガス削減目標一三〇〇万炭素トン達成に向け、「京都議定書目標達成計画」などを踏まえ、健全な森林の整備・保全や木材利用等に取り組んでいます。平成十九年度には、前年度の約二倍にあ

3 新たな政策課題への率先した取組

たる約二二・六万haの間伐を実施しました。

また、全国一一箇所に設置している「森林環境保全ふれあいセンター」を核に、生物多様性の保全や自然再生に取り組む自然団体などと連携しながら、現地調査や自然再生活動、モニタリング調査にも取り組んでいます。さらに、北海道森林管理局では市民の参加をいただきながら「北限のブナ復元プロジェクト」等の生物多様性のため

の対策に取り組んでいます。国有林野に多く残されている原生的な森林生態系や貴重な動物、植物が生息、生育する森林を保護林として新たに設定し、拡張するなど、その保全と管理にも努めています。

4 そのほかにも行われている 様々な取組について

双方向の情報受発信 による対話型の取組

開かれた「国民の森林」としての管理経営に活かすため、双方向の情報発信による対話型の取組を進めており、平成十九年度には「国有林モニター会議」等を開催し、国民の皆様幅広い情報を提供するとともに、さまざまな意見をいただきました。関東森林管理局では高尾山の間伐を実施した人工林を見学していたほか、高尾森林センターにおいて意見交換会を行いました。また、ホームページの充実や森林管理局の新たな取組、年間の業務予定を記者発表するなど、広報活動も積極的に推進しています。

林産物の持続的かつ 計画的な供給

自然環境の保全に十分な配慮を行いつつ、木材などの林産物の持続的かつ計画的な供給を図るため、平成十九年度には七百二十万³mの木材

を収穫しました。多様な森林を有している国有林野の特性を活かし、民有林からの供給が期待しにくい大径長尺材や、木曽ヒノキ、天然秋田杉などの銘木の計画的な供給にも努めています。販売に当たっては、集成材・合板工場や大手住宅メーカーへ納入している製材工場など、これまで主として外材を利用してきた大口の需要者に対して、原材料となる木材を安定的に供給する「システム販売」を推進することにより、国産材の需要拡大に取り組んでいます。

地域産業の振興、 福祉の向上などに貢献

農林業をはじめとする地域産業の振興、福祉の向上などに貢献するため、地方公共団体、地元住民の皆様様に国有林野の貸し付けを行っています。青森県では環境・エネルギー産業の集積や振興を図るため、構造改革特別区域法に基づく構造改革特別地域の認定を受け、民間事業者による風力発電事業を推進しており、

三八上北森林管理署では、平成十九年四月から、風力発電施設（十三基）として約九・四haの国有林野を貸し付けています。そのほか、ダム用地

や森林公園などに必要とされる森林については、公益的機能の発揮などに十分配慮しつつ、売り払いを行っています。



間伐材のフォワーダへの積み込み
(宮城県泉仙台市 小屋森国有林)



国有林モニター会議による現地調査
(東京都八王子市 高尾山国有林)



公園としての森林の売り払い
(神奈川県相模原市 城山国有林)



風力発電敷地としての国有林野の貸付
(青森県上北郡六ヶ所村 尾駁第一国有林)